



## 世界最高水準の技術力を誇る繊維メーカー・カジグループから 合成繊維の可能性をクリエイティブに進化させるテキスタイル ブランド「KAJIF（カジフ）」がデビュー。

合成繊維の一大産地・北陸石川県より発信する、「感性を刺激する」未来のテキスタイル。

カジグループ（石川県金沢市、代表取締役：梶 政隆）は、北陸石川県で1934年に繊維機械製造として創業し、国内外7社のグループ会社で約70年にわたりテキスタイル開発の技術と経験を培ってきました。KAJIF（カジフ）は、その技術と繊維の価値の可能性をさらに広げるために2019年にスタートします。

KAJIF（カジフ）の布は、その全ての工程を一貫して企画・設計し、MADE IN JAPANで製造します。

今回発表する生地は6つのカテゴリーがあり、基本はカジグループが得意とする糸加工技術と極細繊維の製織技術を融合させた商品群となっています。中でもCUTTABLE／カットブルの生地は織物では世界で初めてフリーカット（切りっぱなし）を実現することに成功しました（特許申請中）。

当社はグループ内で繊維機械製造、糸加工、織物、編物、縫製までを一貫して生産できる世界的にもめずらしい企業体です。そのグループ会社の強みを活かした素材開発に長年取り組んでまいりました。

KAJIFの生地には、軽さ、ストレッチ性、撥水性、防風性、透湿防水性、通気性等、それぞれの生地とニーズに合う最高峰の機能性を付与しています。

合繊が持つイージーケア、軽さ、丈夫さなどのもともと備えている特徴に加え、撥水や抗菌防臭等の後加工との親和性を活かすことにより、それぞれの着用シーンや近年のめまぐるしく変わる自然環境に合わせた衣服への適用を可能にしています。

2020年SSより随時デザイナーズブランドやアパレルメーカーで採用予定です。

## カジグループについて

1934年に繊維機械製造として石川県で創業した「カジグループ」は、水資源が豊かな自然環境の中で、機械製造・糸加工・織物・編物・縫製を専門とするグループ各社と共にテキスタイル開発の技術を培ってきました。徹底的にこだわった糸の加工技術により高い機能性としなやかな手触りを実現したテキスタイルは、感性を刺激する生地として世界中から高い評価を受けています。

KAJIF（カジフ） 広報に関するお問い合わせ先

カジナイロン株式会社 東京ショールーム（担当：村松絵梨子）

東京都渋谷区神宮前 3-3-11 2F

03-6434-5184

contact@kajif.jp

<https://kajif.jp/>

生地に関するお問い合わせ先

カジレーネ株式会社（担当：田中佑佳）

石川県金沢市梅田町ハ48番地

076-281-0118

contact@kajif.jp

## ブランド紹介

### ANREALAGE (アンリアレイジ)



## ANREALAGE

デザイナー森永邦彦。1980年、東京都生まれ。早稲田大学、パタンデザイン研究所卒業。ブランド名はA REAL (日常)、UN REAL (非日常)、AGE (時代)、を組み合わせた造語。2003年から活動を開始。「神は細部に宿る」という信念のもと作られた色鮮やかで細かいパッチワークや、人間の身体にとらわれない独創的なかたちの洋服、テクノロジーや新技術を積極的に用いた洋服が特徴。06S/Sより東京コレクションに参加。2014年15S/Sよりパリコレクションに進出。2019年「LVMHヤングファッションデザイナープライズ」ファイナリストに選ばれる。

[www.anrealage.com](http://www.anrealage.com)

### HARUNOBUMURATA (ハルノブムラタ)

H A R U N O B U M U R A T A

村田晴信は東京都出身。エスモード東京校卒業後、PRアシスタントを経て渡伊。マランゴニー学院を卒業後、イタリアファッション協会が主催するコンペティションでアジア人として初受賞、2012年秋冬シーズンにHARUNOBUMURATAの前身となるコレクションを発表。その後ジョンリッチモンド社でのデザイナーを経て、2015年よりジルサンダーのレディースデザインチームに所属。現クリエイティブディレクター、ルーシー&ルークメイヤー夫妻のデビューコレクションを含む2015年から2018年春夏シーズンまでデザインを手がける。2018年8月に帰国し、高級婦人服ブランドHARUNOBUMURATAを立ち上げる。2019AWミラノファッションウィーク公式スケジュール上にてデビューコレクションを発表。

<http://harunobumurata.com/>



## JieDa (ジエダ)

# J i e D a

JieDaデザイナー 藤田宏行。1979年生まれの島根県出身。大阪の某有名セレクトショップにて10年間勤務。退社後、某ブランドの手伝いをしながら洋服作りを学ぶ。2007年島根にて独立し、「JieDa」を立ち上げる。同時にセレクトショップ「KIKUNOBU」をオープンさせ、現在、島根/大阪/東京で3店舗を展開している。2015年より東京に拠点を移す。2016年4月にWebsiteのHighsnobilityにて「6 Upcoming Brands to Check Out This Month」に選出される。LIBERTY FAIRS New Yorkでは、わずかながら選ばれない選考枠に選出された。その他、HYPEBEASTをはじめとする数々のサイトに掲載されている。2017年PARISで展示会を開始。2018年、東京都が主宰する「TOKYO FASHION AWARD」受賞。

<http://jieda.jp/>

## DISCOVERED (ディスカバード)

# DISCOVERED

we are not complete

木村 多津也

1977年4月22日生まれ。上田女子服飾専門学校卒。

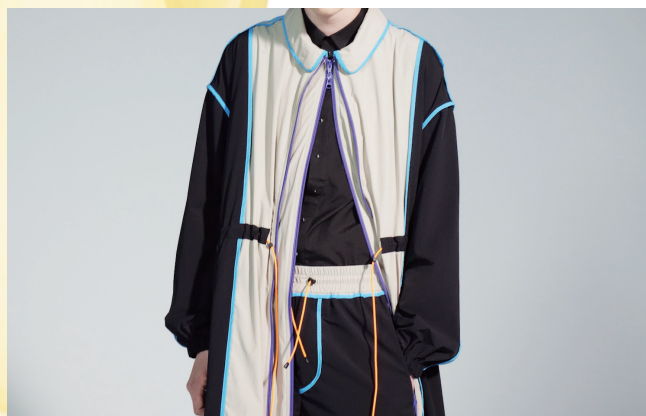
吉田 早苗

1977年12月14日生まれ。上田女子服飾専門学校卒。

2001年からミュージシャン・DJ・役者などのアーティストにオーダーメイドの洋服製作創りを開始しDISCOVEREDをスタートさせる。2010 SPRING&SUMMER COLLECTIONよりRUNWAY形式のSHOWを発表。

リアルクローズを基に、モードからストリートまで幅広い独自の視点で、リアリティかつオリジナリティ溢れるコレクションを展開。また、[Opposition mix up] のコンセプトをかかげ、相反するテイスト・デザインの融合、ジャンルレスのデザインを目指す。

<https://www.discovered.jp/>



## YUIMA NAKAZATO (ユイマナカザト)

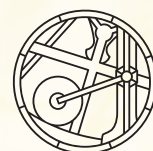
# YUIMA NAKAZATO

中里 唯馬 (なかざと ゆいま)

1985年東京生まれ。独学で服作りを開始し、高校卒業後、単身渡欧。2008年、ベルギー・アントワープ王立芸術アカデミーファッション科を日本人最年少で卒業。同校卒業コレクションがヨーロッパで数々の賞を受賞。2009年、自身のファッションブランド「YUIMA NAKAZATO」を設立。2016年、パリ・オートクチュール・ファッションウィーク公式ゲストデザイナーの1人に選ばれ、日本人として史上2人目、森英恵以来12年ぶりに公式スケジュール参加。2017年、毎日ファッション大賞 新人賞・資生堂奨励賞受賞。

<http://www.yuimanakazato.com/>

## TIMONE (ティモーネ)



**TIMONE**  
FACTORY LABEL

TIMONE (ティモーネ) は、カジグループのテキスタイル開発の結晶として、合織を主素材とするMADE IN JAPANのファクトリーブランドです。

「Journey (ある場所から別な場所への片道の旅)」をメインコンセプトに、合織の軽くて機能性に富む特徴を最大限に活かした、快適でいてエレガントなアイテムを提案します。

人生を旅する全ての人に。

<https://timone.jp/>



## nunc (ヌンク)

# nunc

2017年秋にスタートしたブランド。

nunc (ヌンク) の名前の由来は、ラテン語で今を意味する「nunc」。これまでの歴史の中で必要に応じて形を変えてきたバッグの「必要性から生まれた」という起源の部分に着目し、「今必要とされるもの」をキーワードとして掲げている。活動上や職業上特殊なバッグを必要としている人と話し合う中で、それぞれの用途を満たす専門性のあるバッグ開発活動「ハイフネーションズ (HYPHENATIONS)」を行っている。なお、そこで活かされたディテールや機能性をコレクションラインに落とし込んでいる。

<http://nunc-s.com/>

## YOAK (ヨーク)

# Y O A K

T O K Y O

YOAK (ヨーク) は東京でクリエイティブ、生産を行うフットウェアブランドです。

普遍的なものに新しいアプローチを加えたデザインは、ジャケットやシャツに合わせる事を前提に作られています。プロダクトは、東京で半世紀以上営む靴ファクトリーにおいて熟練の技を持つ職人の手で行われており、最高峰のクオリティを約束します。

YOAK (ヨーク) とはイギリス王族が持つ公爵位を基にした造語です。

<https://yoaktokyo.com/>



TO&FRO (トゥーアンドフロー)

AROUND THE WORLD  
**TO & FRO**  
*Since 2014*  
TRIPPING LIKE A BIRD  
MADE IN JAPAN

2014年デビュー。「軽量・コンパクト」という機能性の高さをコンセプトに掲げたトラベルギアブランド。MADE IN JAPANにこだわり、旅の持ち物に最適な生地の開発から取り組む。ファッションでも日用品でもない「プロダクト」を展開。“TO&FRO (トゥーアンドフロー)”とは“行ったり、来たり”という気軽な旅をイメージする言葉。

<http://toandfro.jp/>

## 生地カテゴリー紹介

### Ultimatelight™ / アルティメットライト

軽さの常識を超える、究極の軽さ。

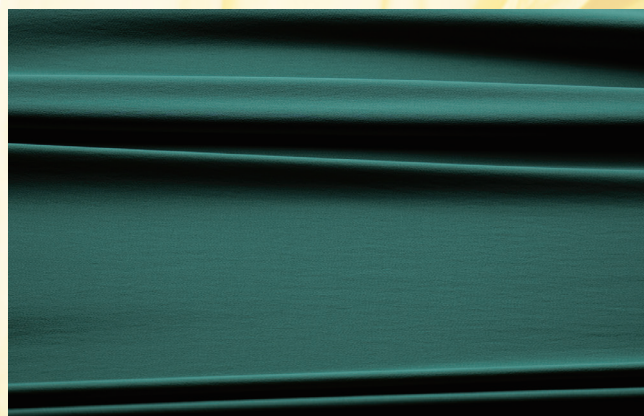
髪の毛の3分の1程度しかない極細の原糸・加工糸を長年培ってきた技術で丁寧に織りあげた究極の軽さを持つ生地。KAJIFを象徴する生地のひとつです。



### Stretch Pleasure™ / ストレッチプレジャー

動きに寄り添う、心地よいストレッチ。

ポリウレタン弾性糸と、それと組み合わせる最適な原糸・加工糸を追求し生まれた、心地よいストレッチ生地です。なめらかな表面感と上品な肌触りが特長です。



### Compaction™ / コンパクション

高密度から生まれる、独創的なハリとコシ。

2種類の繊維を独自の糸加工技術で複合し、そこに特殊な染め加工を施すことで、強いハリとコシのある風合いを実現しました。今までの合繊生地のイメージを覆す独創的な素材です。





### **Tailored Texture™**／テーラードテクスチャー

糸から仕立てる、妥協なき質感。

2種類の糸の複合によるメランジ調、糸に捲縮をつけることで生まれる適度なストレッチ、ミクロの繊維に撚りを加えて生まれるまとわり付くような風合い。微細な質感の追求のため、糸から開発するこだわりの生地。



### **Superiortech™**／スペリアテック

「快適」と「素敵」の、ちょうど良い融合。

合織が得意とする透湿防水加工と、KAJIFテキスタイルが融合。触りたくなる質感に、防水機能とムレない快適さを追加した、KAJIFならではの生地群です。



### **Cutable™**／カタブル

自由に切れて、自由に着れる。

特許技術を用いて完成させた、世界初の織物フリーカット素材。切りっぱなしでもほつれない特殊な生地です。独創的なカットラインをも可能にするストレッチ生地は、使われる方の発想を自由に広げます。

